

◆ 路面性状調査

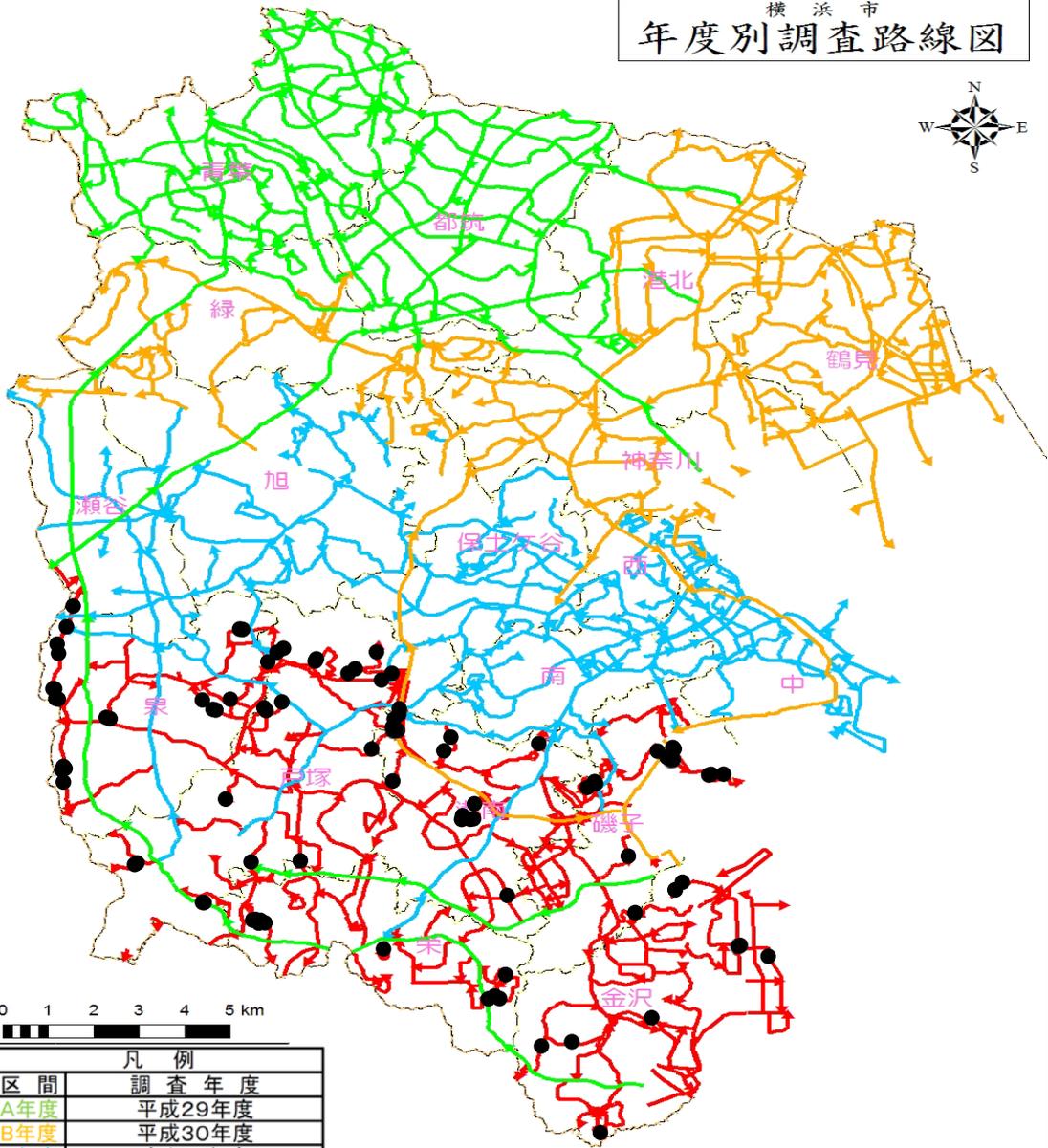
路面性状調査とは、路面性状自動測定装置の性能確認試験（一般財団法人土木研究センターにて実施）に合格した測定機器により、舗装のひび割れ・わだち掘れ・平坦性及びパッチング箇所数を調査し、そのデータを基に道路の現状を把握する調査です。横浜市では、バス通りなどの幹線道路約 1,000 km を4分割し、毎年約 250 km程度を調査しています。

令和2年度は、南部の港南区・磯子区・金沢区・戸塚区・栄区・泉区を主とした範囲で 251 kmの調査を行いました。

◆ 主な損傷結果

区名	調査路線数及び距離	令和3年度までの補修箇所	
港南区	6 路線、 950m	14 箇所	環状2号側道ほか 5 路線
磯子区	6 路線、 950m	15 箇所	汐見台公園付近ほか 5 路線
金沢区	6 路線、 500m	9 箇所	幸浦交番付近ほか 5 路線
戸塚区	11 路線、 1,500m	23 箇所	平戸桜木道路ほか 10 路線
栄区	6 路線、 900m	11 箇所	大船停車場矢部線ほか 5 路線
泉区	5 路線、 1,250m	18 箇所	泉区役所付近ほか 4 路線
計	40 路線、 6.05km	90 箇所	

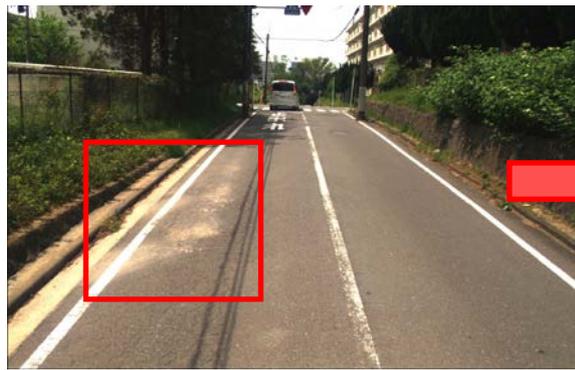
横浜市  
年度別調査路線図



凡 例	
区 間	調 査 年 度
A年度	平成29年度
B年度	平成30年度
C年度	令和元年度
D年度	令和2年度
●	主な損傷箇所

横浜市建築局 都市計画基本図データ及び行政界データにより作成

**【損傷事例】**



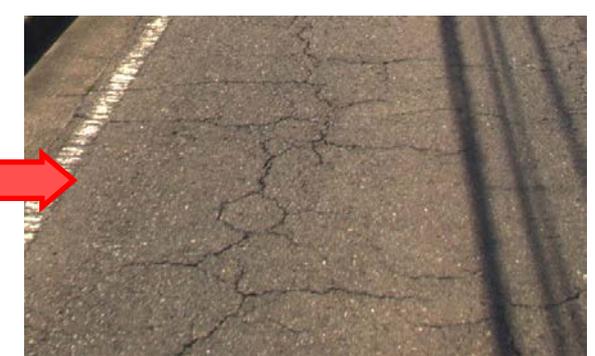
港南区：日野四丁目付近



磯子区：汐見台一丁目付近



金沢区：富岡東二丁目付近



栄区：田谷町付近